

随意契約結果及び契約の内容

業 務 の 名 称	矢板式係船岸の改良設計における連成フレーム解析を活用した予備的検討手法に関する研究委託	
業 務 概 要	計画準備 動的解析と連成フレーム解析の比較による設計手法の妥当性の検証 改良設計手順の検討 感度分析による検討 改良設計の予備的検討手法の構築 協議・報告 成果物	1式 1式 1式 1式 1式 3回 1式
契約担当官等の氏名並びにその所属する部の名称及び所在地	分任支出負担行為担当官 中国地方整備局広島港湾空港技術調査事務所長 阿式邦弘 国土交通省中国地方整備局広島港湾空港技術調査事務所 広島市南区宇品海岸3-10-28	
契 約 年 月 日	令和4年7月22日	
契 約 業 者 名	国立研究開発法人 海上・港湾・航空技術研究所 港湾空港技術研究所	
契 約 業 者 の 住 所	神奈川県横須賀市長瀬3-1-1	
契 約 金 額	21,948,300円(税込み)	
予 定 価 格	21,948,300円(税込み)	
随意契約によることとした理由	<p>本業務は、矢板式係船岸における連成フレーム解析による設計手法の活用にあたり、動的解析と連成フレーム解析の比較による設計手法の妥当性の検証、改良設計手順の検討、感度分析による検討、改良設計の予備的検討手法の構築を行うものである。なお、宇部港本港地区芝中西2号岸壁をモデルとして検討する。</p> <p>本業務の実施にあたっては、矢板式係船岸における設計や耐震照査方法を熟知していること、矢板式係船岸の改良設計や改良工法に関する研究実績を有していること、矢板式係船岸の改良設計において連成フレーム解析を用いた設計手法に精通しているとともに、解析結果を評価する能力を有していることが必要である。</p> <p>国立研究開発法人海上・港湾・航空技術研究所港湾空港技術研究所は、矢板式係船岸の設計実務における技術課題検討に多数関わってきており、矢板式係船岸における耐震照査方法を熟知している。二段タイ材工法や控え杭間補強工法など矢板式係船岸の改良工法の開発実績がある。連成フレーム解析を用いた矢板式係船岸の改良設計に関する研究成果を有していることから精通しており、解析結果を評価する能力が有る。</p> <p>以上のことから、本業務を遂行するに必要な十分な能力を有している。</p> <p>本業務を遂行するに必要な能力を有する者は、国立研究開発法人海上・港湾・航空技術研究所港湾空港技術研究所以外にも存在する可能性があることから、令和4年6月17日から令和4年7月7日までの期間において、本業務の受託希望者の公募を行ったが、参加意思確認書の提出者がいなかった。</p> <p>以上のことから、会計法第29条の3第4項（「契約の性質又は目的が競争を許さない場合」）、予決令第102条の4第3項の規定に基づき、国立研究開発法人 海上・港湾・航空技術研究所 港湾空港技術研究所と随意契約を締結するものである。</p>	
業 務 場 所	—	
業 種 区 分	建設コンサルタント等	
履 行 期 間 (自)	令和4年7月22日	
履 行 期 間 (至)	令和5年2月17日	
備 考		